【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和7年6月10日(2025.6.10)

【国際公開番号】WO2023/007361
【公表番号】特表2024-528018(P2024-528018A)
【公表日】令和6年7月26日(2024.7.26)
【年通号数】公開公報(特許)2024-139
【出願番号】特願2024-505168(P2024-505168)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｄ　3/02(2006.01)
Ａ２４Ｄ　3/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｄ　3/02
Ａ２４Ｄ　3/04

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月2日(2025.6.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
管とカプセルの繰り返し列を含む連続フィルタロッドからたばこ産業のフィルタロッドを製造する装置であって、
フィルタ材料のストランドを調製する調製集合体と、
少なくとも１つのフィルタ材料のストランドから連続フィルタロッドを形成する形成集合体と、
包装材料を供給する包装材料供給集合体と、
第１経路に沿ってカプセルを位置設定集合体へ供給するカプセル供給集合体と、
第２経路に沿って管を位置設定集合体へ供給する管供給集合体と、
カプセルと細長物体の複合流を、カプセルと管の繰り返し列となるように生成して、第３経路に沿って移動させ、前記の生成された複合流を生成中の前記連続フィルタロッド中に設ける位置設定集合体と、
フィルタファイバ、カプセル、及び管を含む前記の生成された連続フィルタロッドを、カプセルと管の列を含む個々のフィルタロッドに切断する切断ヘッドを備え、
前記位置設定集合体は、管の受け取り及び搬送用の第１シートと、カプセルの受け取り及び搬送用の第２シートを有する位置設定ホイールを備え、
カプセルを位置設定集合体へ供給する前記カプセル供給集合体又は管を前記位置設定集合体へ供給する前記管供給集合体は、前記位置設定ホイール上に搬送される前記カプセル又は前記管を瞬間的に受け取る凹部を備える、
ことを特徴とする、装置。
【請求項２】
請求項１に記載の装置であって、前記位置設定ホイールは、前記複合流中において、前記管の幾何学中心が、前記第３経路に沿って進行する前記カプセルによって取り囲まれる空間内部に位置するように適合されることを特徴とする、装置。
【請求項３】
請求項１に記載の装置であって、前記位置設定ホイールは、前記複合流中において、前

記管の軸が、前記複合流の経路に対して実質的に接する位置に設定されるように適合されることを特徴とする、装置。
【請求項４】
請求項３に記載の装置であって、前記位置設定ホイールは、前記カプセルと前記管を前記連続フィルタロッド内の中心に位置づけるように適合されることを特徴とする、装置。
【請求項５】
請求項４に記載の装置であって、管の受け取り及び搬送用の前記第１シートと、カプセルの受け取り及び搬送用の前記第２シートが、それぞれ異なる深さを有することを特徴とする、装置。
【請求項６】
請求項５に記載の装置であって、紙の形態であるフィルタ材料を操作するように適合されることを特徴とする、装置。
【請求項７】
請求項６に記載の装置であって、前記管を前記位置設定集合体へ供給する前記管供給集合体は、前記管が軸長手方向に搬送される突出部を有することを特徴とする、装置。
【請求項８】
請求項６に記載の装置であって、前記位置設定集合体は、前記カプセル供給集合体内でのカプセル又は管の搬送に適した突出部を瞬間的に受け取るシートを備えることを特徴とする、装置。
【請求項９】
管とカプセルを含む連続フィルタロッドを製造する装置であって、
フィルタ材料のストランドを調製する段階と、
少なくとも１つのフィルタ材料のストランドから連続フィルタロッドを形成する段階と、
第１移動経路に沿ってカプセルの流れを供給する段階と、
第２移動経路に沿って管の流れを供給する段階と、
前記カプセルの流れと前記管の流れとを結合することによってカプセルと管の複合流を、カプセルと管の繰り返し列となるように生成する段階と、
前記カプセルと管の複合流を第３経路に沿って供給する段階と、
前記の生成されたカプセルと管の複合流を、前記の生成された連続フィルタロッド中に設ける段階と、
前記の生成された連続フィルタロッドを、カプセルと管の繰り返し列を含む個々のフィルタロッドに切断する段階、
を有する方法。
【請求項１０】
請求項９に記載の方法であって、前記複合流の生成中、前記管の幾何学中心が、前記複合流の経路に沿って移動する前記カプセルによって取り囲まれる空間内部に位置することを特徴とする、方法。
【請求項１１】
請求項１０に記載の方法であって、前記複合流の搬送中、前記管の軸が、前記複合流の経路に対して実質的に接する位置に設定されることを特徴とする、方法。
【請求項１２】
請求項９～１１のいずれかに記載の方法であって、カプセル、管、及びカプセルの繰り返し列を含む複合流が生成されることを特徴とする、方法。